

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (13)	災害対策としての非常食や物品の種類や数量の把握ができていない。	災害が起きても自施設内で最低限の物品が揃っており、不安軽減が図れるようにする。	現在の防災用具や食料備蓄の種類と数量を確認し、不足している物品を揃える。 職員全員が発電機の操作方法を勉強会で学ぶ。	2ヶ月
2	31 (12)	重度化や終末期に向けた方針と支援について曖昧である。	利用者様一人ひとりの終末期に望む支援方法を把握する。	一定の年齢に達した利用者様とその家族と面談(遠方の方は電話や手紙で)をし、重度化した場合や、望む終末期の過ごし方について伺い、記録する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。